

令和4年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①講座 ②イベント ③委員 ④会議 ⑤調査研究 ⑥実習生等受入 ⑦企業等連携 ⑧事業周知 ⑨補助金 の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全住民 など

※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
1	講座	放送大学	全住民	あだちの大学リレーイベント企画「これからの時代を生きる子どもを育てるヒント」	東洋英和女学院大学名誉教授	池田裕恵名誉教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。幼少期に育むべき力である「非認知能力」や子どもが遊びを通して育つことについて学ぶ講座。	対面 オンライン	9/3	59人
2	講座	放送大学	全住民	アリストテレスに学ぶ、哲学とはどういう学問なのか？	お茶の水女子大学文教育学部人文科学科	中野裕考准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/5	62人
3	講座	東京藝術大学	小中学生	あだちの大学リレーイベント企画「みんなで楽しむ音楽とダンス！」	東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科	酒井雅代助教 山崎朋助手 石川清隆特任助手 中野哲助手 南條由起（プロヴァイオリニスト）	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。児童はクラシック音楽と身体をつかった「あそび」と「まなび」を体験。保護者はアート体験を通じた「まなび」についての講座受講。	対面	1/29	64人
4	講座	東京藝術大学	全住民	だれでもピアノ体験講座	音楽学部音楽文化専攻	佐野靖教授	藝大とヤマハが共同開発した誰でもピアノを子どもから高齢者までが体験。	対面	2/6	39人
5	講座	東京未来大学	幼児	親子で楽しむ 着ぐるみミニ運動会	こども心理学部	今井康晴准教授	大学生が企画した運動会を連携して開催。	対面	12/17	16人
6	講座	東京未来大学	幼児	小学校入学にむけて 家庭での大切な準備	こども心理学部	今井康晴准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	7/2	14人
7	講座	東京未来大学	小中学生	あだちの大学リレーイベント企画「あそびと対話で育てよう 子どもの人間力」	こども心理学部	今井康晴准教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。SDGsに関する絵本の読み聞かせ、非認知能力育成の実践として、親子で廃材を活用したおもちゃづくりを実施。	対面	10/30	58人
8	講座	東京未来大学	大学生	授業へのNPO団体ゲスト登壇（まちづくり論）	モチベーション行動科学部	森下一成教授	NPO団体がゲストスピーカーとして、自身の活動等について講演。仕事観や地域活動等について学生の学びに寄与する機会として森下一成教授から登壇の要望があり、実現。	対面	12/22、1/12	－
9	講座	東京未来大学	全住民	日本の城と千住との縁 新視点で見る歴史の魅力	こども心理学部	西野通博講師	大学の専門性を活かした講座。	対面	4/14～5/12	93人
10	講座	東京未来大学	全住民	公開講座「親子でおもちゃクラフト制作」	こども心理学部	今井康晴准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	3/12	34人
11	講座	東京未来大学	全住民	公開講座「残したい記憶を絵日記のように描く 記憶画講座」	こども心理学部	高橋文子准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/16、3/2	27人
12	講座	東京未来大学	全住民	公開講座「ハッピーエイジングの心理学」	モチベーション行動科学部	島内晶准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	3/6	27人
13	講座	東京未来大学	全住民	現場から見る学習障がいその理解と接し方	こどもみらい園	池田準教員	大学生との連携による子どもの居場所づくり事業。	対面 オンライ	11/5	12人
14	講座	帝京科学大学	大学生	認知症高齢者支援事業	医療科学部医療福祉学科	宮本住子助教	医療福祉学科1年生の授業の枠内で、「認知症になっても住み続けられるまち立」を目指し、認知症講座を2日制で実施。 【座学】認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座 【実演】認知症高齢者声かけ訓練	対面	10/25、11/1	101人
15	講座	帝京科学大学	大学生	帝京科学大学自然環境学科実習	生命環境学部自然環境学科	森長真一准教授	荒川下流域ならではの環境の特性を知り、身近な自然を理解することに繋げることを目的とし、帝京科学大学自然環境学科にて行われる環境野外実習。	対面	5/30	54人
16	講座	帝京科学大学	全住民	スペシャル版おしゃべり処	医療科学部看護学科	田中博子准教授 永井和佳教授 福井都子准教授	地域の方との想いのコミュニケーション「おしゃべり処」を連携して開催。	対面	10月～11月	153人
17	講座	帝京科学大学	全住民	あだちどこでも大学「あぶらなの肝臓イキキ、朱色粉末のオキアミオイル」	地域連携	－	大学による高度で専門的な講座を、区内各地域で提供するために、その開催に向けて地域学習センターおよび大学と調整、実施。 （舎人地域学習センターで開催）	対面 オンライン	2/11	18人
18	講座	帝京科学大学	全住民	ヒトとウィルス 深く長いつながり	生命環境学部アニマルサイエンス学科	渡辺隆之講師	大学の専門性を活かした講座。	対面	7/12	17人
19	講座	東京電機大学	小中学生	オンデマンドde科学・ものづくり体験教室	工学部自然科学系・工学部応用化学科・工学部先端機械工学科・先端科学技術研究科情報通信メディア工学専攻・未来科学部情報メディア学科	田中里美講師 保倉明子教授 佐藤真一講師 小林宏史教授 津國和泉 池田雄介教授 長澤光晴教授 井上竜ノ介助手	オンデマンドによる「科学」と「ものづくり」をテーマとした4つの工作を実施。	オンライン	8/1～8/31	260人
20	講座	東京電機大学	大学生	TDU-FAゲストクリティーク	未来科学部建築学科	－	建築学科における基幹科目「建築設計製図」の演習におけるゲストクリティーク。演習内容は千住地域におけるまちづくりに関するもの。	対面	2/20	103人
21	講座	東京電機大学	全住民	東京電機大学未来科学部建築学科イブニングセミナー「利休の茶室は日本的空間か？日本の木造建築の特質」	首都大学東京	深尾精一名誉教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/16	88人
22	講座	東京電機大学	全住民	あだちどこでも大学「私たちの暮らしの中の半導体」	地域連携	－	大学による高度で専門的な講座を、区内各地域で提供するために、その開催に向けて地域学習センターおよび大学と調整、実施。 （新田地域学習センターで開催）	対面 オンライン	12/9	21人
23	講座	東京電機大学	全住民	建築物に求められる喫緊の地球温暖化対策	未来科学部建築学科	百田真史教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/26	8人
24	講座	東京電機大学	全住民	「情報セキュリティの課題と対策」	未来科学部情報メディア学科	寺田真敏教授	セキュリティ分野で注目されているソフトウェアのサプライチェーンについて学ぶ。	対面	12/1、12/2	34人
25	講座	東京電機大学	全住民	「産学連携で中小企業も基礎的長期的研究を可能に！」	工学部電気電子工学科	棚川重男教授	多くの企業に東京電機大学の技術を利用していただけるように、大学コーディネーターや企業、大学研究者がそれぞれの立場から産学連携についてわかりやすく説明。	対面	2/13	31人
26	講座	東京電機大学	全住民	産学連携技術促進事業「製造業におけるIoTワークショップ」	未来科学部情報メディア学科	岩井将行教授	自社でIoTを活用するイメージをもってもらう。	対面	6/27、6/28	16人
27	講座	文教大学	小中学生	夏休みスペシャル 小中学生ナガくんひろば	人間科学部人間科学科	二宮雅也教授	大学生との連携による子どもの居場所づくり事業。	対面	8/2、8/7 8/9、8/14 9/21、9/28	60人
28	講座	文教大学	大学生	アクティブスクール・マネジメント	経営学部経営学科	新井立夫教授	「キャリア教育（職育・食育）」の視点を踏まえた新たな「リーダーシップ教育」の在り方」と題した講座。 ・教育指導課指導主事がパネリストとして参加。	オンライン	7/16、11/12 1/21	534人

令和4年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①講座 ②イベント ③委員 ④会議 ⑤調査研究 ⑥実習生等受入 ⑦企業等連携 ⑧事業周知 ⑨補助金 の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分） 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全住民 など

※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
29	講座	文教大学	大学生	公共経営実地演習	経営学部経営学科	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑、相談、プレゼンテーションを行う授業。 ・区長、担当課職員による講話を実施。	対面	通年	80人
30	講座	文教大学	大学生	専門ゼミナールⅠ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	エコツーリズムの基礎を学び、フィールドワークを通して、地域デザイン技法を修得する。 ・シティプロモーション課長による講話を実施。	対面	5/12	30人
31	講座	文教大学	大学生	地域プロジェクト演習Ⅰ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	事例を元に地域づくりのプロセスを学ぶ。 ・エリアデザイン計画担当課職員による講話を実施。	対面	6/20	27人
32	講座	文教大学	大学生	地域調査演習	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	行政職員とのインタビューを通して、地域課題等を考える。 ・シティプロモーション課職員、観光交流協会職員が参加。	対面	6/24	16人
33	講座	文教大学	大学生	ゼミ活動報告会	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	海津ゼミナールの2022年度活動報告会。 ・各班からの活動報告を傍聴	対面	1/25	12人
34	講座	文教大学	大学生	地域プロジェクト演習Ⅱ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	地域づくりに関する課題に対し、解決策の提案をまとめる演習。 ・エリアデザイン計画担当課職員による講話を実施。	対面	9/22、1/19	8人
35	講座	文教大学	大学生	地域計画特論	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	まちづくりに関する行政課題についての講義、ディスカッション。 ・シティプロモーション課長による講話を実施。	対面	11/2	4人
36	講座	文教大学	大学生	サービス・ラーニング（特殊講義）	国際学部国際理解学科	林薫教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ（8回の講義と45時間の実習）。	対面	通年	17人
37	講座	文教大学	全住民	区民向け講座	国際学部国際理解学科	孫美幸准教授	外国にルーツを持つ子どもたちの支援について考える区民向け講座。多文化共生について研究されているため、孫美幸准教授に講師依頼をした。	対面	1/29	68人
38	講座	文教大学	全住民	人間関係の心理学 思い込みと考え方のクセ	人間科学部心理学	鎌田晶子教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	3/12	48人
39	講座	文教大学	全住民	あだちどこでも大学「『お金の記録（会計）』の必要性と公認会計士のお仕事」	地域連携課	－	大学による高度で専門的な講座を、区内各地域で提供するために、その開催に向けて地域学習センターおよび大学と調整、実施。 （花畑地域学習センターで開催）	対面 オンライン	1/21	13人
40	イベント	放送大学	全住民	学びビアの縁側	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びビア21内の施設で連携して行うイベント。	対面	通年	－
41	イベント	放送大学	全住民	学びビア21 SDG s キャンペーン	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びビア21内の施設で連携してSDG s キャンペーンを実施。	対面	8月	－
42	イベント	放送大学	全住民	学びビアの縁側、出張「筆跡研究会」 「かかとの会	東京足立学習センター	サークル「アロマとハーブを楽しむ会」「筆跡研究会」「かかとの会	生涯学習総合施設「学びビア21」の各施設が集まり、体験型プログラムを実施することで、新規利用者の獲得やリピーターの増加、各施設利用者へ横断的な利用を促すことを目的としたイベント「学びビアの縁側」において、放送大学より3サークルが参加。 毎月開催のイベントに可能な限り出展した。	対面	毎月1回	－
43	イベント	東京藝術大学	幼児 小中 学生	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「音楽教育支援事業」	音楽学部音楽文化学専攻	佐野靖教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施する。	対面	通年	6,013人
44	イベント	東京藝術大学	全住民	アートアクセスあだち音まち千住の縁「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大暮伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。 平成30年以来となる大規模イベントの令和5年度開催（予定）に向けて、新たな仲間づくりを行うとともに、本事業の周知をねらった企画「ふわり◎シャボン玉」を他団体主催のイベント等で実施した。	対面	5/4、7/3 7/30、8/7 8/21、9/10 10/29、11/6 11/18、3/20 3/21	2,036人
45	イベント	東京藝術大学	全住民	アートアクセスあだち音まち千住の縁「千住だじゃれ音楽祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。 主催事業の「1DAYパフォーマンス表現」への出演や、他団体が主催するアートイベント「隅田川道中」にも出演するなど、野外パフォーマンスを複数回実施した。	対面	10/29、11/6	100人
46	イベント	東京藝術大学	全住民	アートアクセスあだち音まち千住の縁「千住・人情芸術祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	地域のひとと場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことを目指す。「1DAYパフォーマンス表現」では、公募パフォーマー・ゲストアーティストらが、千住ほんちょう商店街等で同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。商店街主催の「こども大名行列」と同時開催し、事前周知や当日の警備・ボランティア等で千住本町商店街振興組合、千住本町5町会、足立成和信用金庫本店の協力を得るなど、地域との新たな縁を紡いだ。	対面 オンライン	11/6	8,463人
47	イベント	東京藝術大学	全住民	アートアクセスあだち音まち千住の縁「イミグレーション・ミュージアム・東京」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く若井成昭（秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師）のプロジェクト。区内小学校校へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じて多文化社会を考えるエデュケーション・プログラムを実施した。また、海外ルーツの方々から公募した絵画など約70点を展示する多国籍美術展を併町の家で開催した。	対面 オンライン	11/18、11/19 11/21、12/3-25 1/19、1/21 1/23	1,370人
48	イベント	東京藝術大学	全住民	アートアクセスあだち音まち千住の縁文化サロン「仲町の家」拠点形成事業	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。 さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。	対面	通年	9,167人
49	イベント	東京藝術大学	全住民	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽学部音楽環境創造科	田村文生准教授	コンサートや動画配信を通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。 コンサートと動画配信（R2年度から）を年4～5回で実施。	対面 オンライン	10/8、11/3 12/6、1/21	2,761人
50	イベント	東京藝術大学	全住民	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「福祉と子育て支援事業」	音楽学部音楽文化学専攻	畑岡一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的事業は以下のとおり ①保育者を対象に音楽を通して乳幼児と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動（おとあそび研修） ②音楽療法のノウハウとスキルを区内保育施設の音楽活動に活用するための出張型園内コンサート及び園内研修 ③障がいのある子どもとその家族を対象としたコンサート	対面	①5/31、6/14 7/5、10/18 11/14、11/29 12/13、1/17 ②7/7、7/14 9/15、9/29 ③11/11～	740人
51	イベント	東京藝術大学	全住民	すすめ！多世代交流祭り	国際芸術創造研究科	藤村怜(後期博士課程)	地域包括支援センター西部ブロック、6か所の地域包括支援センターが集まり地域包括支援センターのPRを主目的として、ホウカツのみならず各種団体の協力を得て、多世代が集うイベントであった。	対面	10/29	300人
52	イベント	東京藝術大学	全住民	すみだ川アートラウンド	国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	「音まち計画」からの依頼で、園域内のサロン等を紹介した。谷中のおかってが劇園うめはらの活動に2回参加し、自作ダンスの振り付けなどを行った。また、野村誠氏が梅田クラブの活動に2回参加し、アジアの楽器などを生きた遊びなどを行った。	対面	7/21、10/6 1/18、2/15	－
53	イベント	東京未来大学	小中学生、高校生	アートワークショップ	こども心理学部	高橋文子准教授	大学生指導のもと、アートの興味ある中高生が色鉛筆を使ったデッサン・レジナクセサリーづくりから自己表現を学ぶ。	対面	6/12	21人
54	イベント	東京未来大学	全住民	学生が提案したコースを楽しむ 千住まち歩き	モチベーション行動科学部	森下一成教授	森下ゼミ生と連携し、学生が提案したコースを学生が案内するまち歩き。	対面	11/3	14人

令和4年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①講座 ②イベント ③委員 ④会議 ⑤調査研究 ⑥実習生等受入 ⑦企業等連携 ⑧事業周知 ⑨補助金 の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順） 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分） 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全住民 など

※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
55	イベント	東京未来大学	全住民	くらしフェスタ	こども心理学部、エンロールメントマネジメント局	本内菜保子教授 鈴木哲也教授 西村実穂講師 阿部史雄CA	消費生活に関する知識を啓発するイベント。未就学児、小学生またはその保護者に向けた啓発をターゲットとしたワークショップを出展する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により縮小開催（主に人を配置しない展示会）が決定したため、不参加となった。なお、企画などの打合せ等は行った。	対面	10/19～10/25	－
56	イベント	東京未来大学	全住民	第1回MIRAI FES	－	田中翔CA 学園祭実行委員会	東京未来大学の学園祭「第1回MIRAI FES」において、学生や地域の人たちに気軽に「SDGS」に触れることが出来る場を提供したいと、大学側からあだち再生館にワークショップの依頼があった。当日のワークショップでは、学生が集めた古布を材料にして、オリジナルブックカバーを作成した。衣料品の供給過多など現状について説明し、参加者にリユースやリサイクルの重要性を認識してもらった。	対面	10/30	42人
57	イベント	帝京科学大学	幼児	のびのびプレイデイ	教育人間科学部 幼児保育学科	本多みどり教授 飯泉祐美子教授 杉本信教授 呂曉彤教授 今西ひとみ准教授 木場有紀准教授 旦直子准教授 富岡麻由子准教授 安部久美助教 田口直子助教 松山寛助教 渡辺令子助教 渡部見子助教 小林咲里亜特任助教	幼児保育学科の大学生と一緒に「カブラ」「アクセサリづくり」など9つの遊びブースを保護者と一緒に自由に遊ぶ。	対面	11/19	118人
58	イベント	帝京科学大学	小中学生	ボーリング調査の公開	教育人間科学部 学校教育学科	植木岳雪教授	鹿浜第一小学校の校庭内でボーリング調査を実施。その様子を小学校高学年生に公開し、足立の地質について解説した。	対面	6/8	170人
59	イベント	帝京科学大学	小中学生	フラッグフットボール教室	－	－	一般社団法人キャタピラーズが帝京科学大学のグラウンドにてフラッグフットボール教室を開催。案内チラシを千住地域周辺の小学校に配布した。	対面	12/18、2/26 3/5、3/19 3/26	85人
60	イベント	帝京科学大学	小中学生	ふれあい動物教室	生命環境学部 アニマルサイエンス学科	並木美砂子特任教授	大学から学校に向かい、大学生と交流しながら、モルモット・スナネズミ等とのふれあいを通じて「いのちの大切さ」を体験する。	対面	－	1,601人
61	イベント	帝京科学大学	小中学生	ENJOY 夢の体験教室	教育人間科学部 学校教育学科保健体育コース・ 教育人間科学部 学校教育学科中高英語コース・ 教育人間科学部 学校教育学科小学校コース	長見真教授 持田尚准教授 岩沼聡一朗講師 馬場千秋教授 安藤生大教授 大日向浩教授 小池守教授 倉山智春准教授 高田由基助教 石橋裕子教授	小学生向けにわかり易くした4つの大学講義を体験。	対面	10/1、10/15	68人
62	イベント	帝京科学大学	小中学生	体験！1日大学生	生命環境学部 生命科学科臨床工学コース・生命環境学部自然環境学科	堀和芳准教授 山際清史講師	中学生向けにした大学講義を体験することで自らの興味関心を深める。併せて、大学生がキャンパスライフを紹介。	対面	1/21	34人
63	イベント	帝京科学大学	小中学生	ときめき！未来教室	教育人間科学部 学校教育学科小学校コース	石橋裕子教授	児童養護施設の子ども達を招待して、大学生と一緒にチームを組み、キャンパス内を探検しながらのウォークラリーをする。	対面	1/21	5人
64	イベント	帝京科学大学	大学生	拉致問題啓発パネルの展示	－	－	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10～16」にあわせた啓発事業として、啓発パネルを大学構内に展示した。	対面	12/12～12/16	－
65	イベント	帝京科学大学	大学生	清掃美化活動実施団体への登録及び清掃活動の実施	－	－	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が3,300円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週月曜日	200人
66	イベント	帝京科学大学	高齢者	千住便利隊・見守り活動	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授、楠永敏恵教授	千住龍田町会と千住便利隊・見守り活動のコラボ。高齢者の困りごとに対応する学生の訪問。町会役員へ活動報告会を実施。	対面	2/20	9人
67	イベント	東京電機大学	小中学生	小学生のためのモノづくり科学実験 《単極モーターを作ろう～電流のふしぎをさぐる～》	未来科学部ロボット・メカトロニクス学科	汐月哲夫教授	2018年度からはじめて小学生の夏休み自由研究に役立つイベントプログラム『Let's自由研究』のひとつ。モノづくりと科学の不思議を実験しながら体験するという企画。 教授が研究室をお持ちになるのが今年最後とのことで、より専門分野に近い単極モーターで電流の仕組みを探ろうというものを、対象は小3～6年生に限定し、講義と実験	対面	8/6	10人
68	イベント	東京電機大学	小中学生	電子工作教室	工学部情報通信工学科・	定松宣義講師	オンデマンド落選者を対象とした対面講座。	対面	10/29	22人
69	イベント	東京電機大学	大学生	ティーンズ向け図書情報誌「ティーンズスコップ」	情報通信工学科、機械工学科	－	ティーンズをターゲットにした図書情報誌の発行するため、東京電機大学の学生にインタビューを実施した。その中で紹介してもらった「中学生にオススメする本」などを誌面に掲載。	対面	3月	－
70	イベント	東京電機大学	大学生	美化推進協議会「秋の清掃活動」	－	－	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。 大学敷地内を集合場所として提供してもらっている。	対面	10/3	15人
71	イベント	東京電機大学	大学生	美化推進協議会「春の清掃活動」	－	－	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。 大学敷地内を集合場所として提供してもらっている。	対面	5/17	13人
72	イベント	東京電機大学	大学生	花いっぱいコンクール	生体反応研究室	－	花いっぱい運動の一環として実施。 大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	3人
73	イベント	文教大学	小中学生	花畑公園・桜花亭秋のスポーツ・健康フェスタ2022 縮小版	大学事務局地域連携部地域連携課	－	「身近な公園 de 健康づくり」がコンセプトの「子どもから大人までが楽しめる、スポーツ・健康づくりに関連したイベント」。コロナ禍で、過去に開催したような大規模イベントは開催できないので、事業内容を厳選し諸々の制限も施したうえで、縮小版と銘打って3年ぶりに開催した。 文教大学には、オープニングイベントへの出演（ダンス部）と、学生ボランティア募集（5名）を依頼。	対面	9/25	439人
74	イベント	文教大学	小中学生	0からENGLISH	国際学部国際理解学科	塩沢泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体感する。	対面	9/24、2/5	71人
75	イベント	文教大学	高校生	淵江高校による大学見学	地域連携課	－	都立高校に区内大学を知ってもらうことで、生徒の今後の活動や進路に役立ててもらおう。	対面	7/13	3人
76	イベント	文教大学	全住民	はなはた文教マルシェ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	足立成和信用金庫、花畑地区の地域自治会で組織された実行委員会により、草加市を含む大学周辺の地域の皆様の交流促進や地域経済の活性化を目的に企画・運営されたイベント。	対面	10/30	3,000人
77	イベント	文教大学	全住民	ぶんご食堂	国際学部国際理解学科	渡邊暁子教授	学生主催の子ども食堂の実施。 ・チラシ配布等の周知協力	対面	8/13、2/12	80人
78	イベント	文教大学	全住民	あだち会	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	「地元学」として地域の魅力発掘や活性化について学ぶ。 ・地域向けに研究した内容を桜花亭で実施。	対面	4/17	48人

令和4年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①講座 ②イベント ③委員 ④会議 ⑤調査研究 ⑥実習生等受入 ⑦企業等連携 ⑧事業周知 ⑨補助金 の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分） 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など

※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
79	イベント	文教大学	全区民	出張展示 「世界を旅するおはなし会 で出会うプリンセス」	大学事務局学術 情報部図書館課	－	【内容】文教大学東京あだち図書館の特集コーナーにて、共同展示を行った。花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」で紹介したプリンセスが活躍する絵本を展示した。 【目的・経緯】昨年から継続事業で資料展示などを通して花畑図書館の「世界を旅するおはなし会」の認知と利用促進を図る。	対面	6/30～8/4	385人
80	イベント	文教大学	全区民	高校生によるあだち未来 スケッチ発表会	国際学部国際理 解学科	林薫教授	多様な人々や団体が柔軟につながるプラットフォーム事業として実施したイベントに大学生が運営スタッフとして参加。	対面	11/20	37人
81	イベント	文教大学	全区民	ステップアッププログラ ム	経営学部経営学 科	鈴木誠教授	「ステップアッププログラム」セミナーの最終発表会でのコメンテーターとして依頼。	対面	2/9	27人
82	イベント	文教大学	全区民	せんきょけんエラビーを 探せ！	－	－	文教大学の学園祭における選挙啓発を目的としたクイズラリーの実施。選挙機器の実演。	対面	11/12、 11/13	114人
83	イベント	東京未来大学/文 教大学	全区民	2030あだち未来スケッ チ地域活動交流会	モチベーション 行動科学部/国際 学部国際理解学 科	森下一成教授 林薫教授	多様な人々や団体が柔軟につながるプラットフォーム事業として実施したイベントに大学生が運営スタッフとして参加。	対面	6/26	57人
84	イベント	東京藝術大学/東 京未来大学/帝京 科学大学	大学生	春のごみゼロ地域清掃活 動	－	－	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力依頼済み。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。（5/16藝大、5/31未来大、6/27帝科大）	対面	5/16、5/31 6/27	34人
85	委員	放送大学	－	コールセンター事業	情報コース	中谷多哉子教授	統合電話センター運営業務委託事業者選定委員会の学識委員。	対面 オンライン	8/30、10/18 12/27	18人
86	委員	東京藝術大学	－	足立区文化芸術劇場運営 評価委員会	音楽学部音楽環 境創造科・大学 院国際芸術創造 研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評価。	対面	9/7	5人
87	委員	東京未来大学	－	公契約等審議会委員	モチベーション 行動科学部	田中真奈美教授	足立区公契約等審議会の学識委員。	対面	6/2、10/14 2/8	11人
88	委員	東京未来大学	－	足立区いじめ等調査委員 会	こども心理 学部	大橋恵教授	足立区いじめ等調査委員会の委員。	対面	4/19、5/10 5/31、6/29 8/16、9/22 12/13、2/10 2/20、3/13 3/27	33人
89	委員	東京未来大学	－	六町駅前区有地活用事業 者選定委員	モチベーション 行動科学部 まちづくり・公 共福祉研究室	森下一成教授	六町駅前区有地活用事業整備・運営事業者についての委員会の有識者委員。	対面	10/20	1人
90	委員	東京未来大学	－	足立区防犯専門アドバイ ザー	こども心理 学部	出口保行教授	足立区ビューティフル・ウィンドウズ運動を推進し、犯罪抑止対策を効果的に行うため。	対面	2/28	12人
91	委員	東京未来大学	－	子ども支援専門部会特別 部会員	こども心理 学部	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	対面 書面	7/22、12/16 3/17	60人
92	委員	帝京科学大学	－	福祉サービス苦情等解決 委員会	医療科学部医療 福祉学科	加藤洋子教授	福祉サービスの向上を目的に平成12年に設置された「福祉サービス苦情等解決委員会」の学識委員。	対面	5/30、11/21 1/24	17人
93	委員	帝京科学大学	－	足立区精神障がい者施設 指定管理者選定等審査会 委員	医療科学部看護 学科	吉岡幸子教授	会長に就任いただき、精神障がい者自立支援センターの次期指定管理者選定及び業務評価を実施した。	対面	9/20、11/4 12/20	40人
94	委員	東京電機大学	－	足立区バリアフリー協議 会委員	未来科学部建築 学科	山田あすか教授	足立区バリアフリー協議会の学識委員。	書面	5/13、7/8 9/29、3/15	152人
95	委員	東京電機大学	－	足立区のSDGs推進にか かる綾瀬駅西口高架下空 き店舗運営業務委託プロ ポーザル選定委員会	未来科学部建築 学科	荻原雅史講師	足立区のSDGs推進にかかる綾瀬駅西口高架下空き店舗運営業務受託事業者の選定委員会の学識委員。	対面	10/4、11/22 1/17	－
96	委員	東京電機大学	－	足立区立鹿浜西小学校用 地活用事業者選定委員	未来科学部建築 学科	菅原大輔准教授	鹿浜西小学校用地活用事業整備・運営事業者についての委員会の有識者委員。	対面	9/26、12/15 2/7	3人
97	委員	東京電機大学	－	足立ブランド認定推進事 業	工学部先端機械 工学科	清水康夫教授	足立ブランド企業認定の選考委員会の委員。	対面	4/27、11/18 12/16、1/16	28人
98	委員	東京電機大学	－	足立区大学病院施設等整 備費補助金交付審査会の 審査委員。	都市デザイン研 究室	土田寛教授	足立区内に高度かつ専門的な医療の機能を有する大学病院を新たに開設する者に対し、大学病院の施設等の整備費の一部を補助することにより、区民が安心できる地域医療の充実を図ることを目的とする。	対面	2/28	6人
99	委員	東京電機大学	－	足立区ユニバーサルデザ イン推進会議委員	未来科学部建築 学科	山田あすか教授	足立区ユニバーサルデザイン推進会議の学識委員。	対面 オンライン	5/19、12/7 1/25	20人
100	委員	文教大学	－	あだち子どもの未来応援 基金審査会	国際学部国際理 解学科	林薫教授	あだち子どもの未来応援基金審査会の委員。	対面	4/11、12/12	5人
101	委員	文教大学	－	創業支援施設入居者選考 委員会	経営学部経営学 科	鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、10/14	10人
102	委員	文教大学	－	創業プランコンテスト選 考委員会	経営学部経営学 科	鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、7/22	10人
103	委員	東京未来大学/東 京電機大学/文教 大学	－	足立区区民評価委員会	子ども心理学部 子ども心理学科/ 未来科学部建築 学科/人間科学部 人間科学科	藤俣悦子教授/荻原雅 史講師/宮地さつき講 師	足立区区民評価委員会の学識委員。	対面 オンライン	4/22	14人
104	委員	東京藝術大学/東 京未来大学/文教 大学	－	足立区ギャラクシティ運 営評価委員会	音楽学部/こども 心理学部/こども 心理学科/教育学 部	伊志嶺絵里子非常勤 講師/渡辺千歳教授/ 山縣朋彦教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	8/31、9/2	12人
105	委員	帝京科学大学/文 教大学	－	外国にルーツを持つ児童 生徒等に対する学習支援 事業	教育人間科学部 学校教育学科/国 際学部国際理解 学科	神谷純子准教授 渡邊暁子准教授	外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業受託事業者評価委員会の委員。	対面	12/20	5人
106	委員	放送大学/東京電 機大学	－	粗大ごみ受付業務および 関連システム運用・保守 業務委託プロポーザル選 定委員	オンライン教育 センター長/未来 科学部ロボッ ト・メカトロニクス 学科	中谷多哉子教授 松垣博章教授	令和5年3月末で現行システムを受託している東京都環境公社の撤退により、令和5年4月から新規システムを導入する。	対面	4/15、6/2 7/7	21人
107	委員	東京未来大学/東 京電機大学	－	小中学校用務業務委託事 業者選定委員会	保育・教職セン ター/管財部	長谷川かはる特任教 授/井山義信部長	小中学校用務業務委託事業者選定委員会の学識委員。 シティープロモーション課大学連携担当係長の紹介。	対面	9/29、12/16	13人
108	委員	東京未来大学/帝 京科学大学	－	子ども施設指定管理者等 選定審査会委員	こども心理学部/ 教育人間科学部/ 幼児保育学科	佐々木由美子教授/高 岡麻由子准教授	子ども施設指定管理者等選定審査会の委員。	対面	8/10、10/14	13人

令和4年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①講座 ②イベント ③委員 ④会議 ⑤調査研究 ⑥実習生等受入 ⑦企業等連携 ⑧事業周知 ⑨補助金 の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分） 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区分 など

※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
109	委員	東京電機大学/文教大学	－	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会	国際学部国際観光学科/ システムデザイン工学部情報システム工学科	清水麻帆准教授 松井加奈准教授	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会における学識委員。 助成の給付対象、給付額および給付方法等の決定を行う。 まちづくり活動成果発表会への出席および講評。	対面	7/26、10/26 2/9	56人
110	会議	放送大学	－	学びビアの横断会議	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びビア21内の施設で連携して行うイベント「学びビアの縁側」のための会議。	対面	通年	－
111	会議	放送大学	－	学びビアCI会議	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びビア21内の施設で連携し、学びビア全体の魅力アップのための会議。	対面	通年	－
112	会議	東京未来大学	－	地域活動支援	モチベーション行動科学部	森下一成教授	学生によるまちづくり活動のコーディネート。	対面	4月～9月	25人
113	会議	帝京科学大学	－	地域活動支援	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	学生によるまちづくり活動（地域の居場所づくり）について、各種活動団体や区民講師とのコーディネート。	対面	4月～9月	－
114	会議	帝京科学大学	－	千住便利隊	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授、楠永敏恵教授	地域福祉の一環として学生チームが高齢者のお宅に行き、無償ボランティアで高齢者の困りごと（掃除・買物・話相手・スマホ操作・外出介助等）に対応する。介護保険外の地域福祉サービスのため、ケアマネジャーとの顔合わせ会、結果報告会を行った。	対面	4/15、1/20	74人
115	会議	帝京科学大学	－	生活支援体制整備事業	医療福祉学部医療福祉学科	嵯崎京子教授、藤江慎二准教授、柴野裕子助教	ゆるやかなサポート講座（通いの場における互助活動の促進に向けた講座）の実施にあたり、講座企画を相談した。2つのゼミの協力をいただいた。学生は、①ワークショップへの参加、②フィールドワーク（民生委員等へのヒアリング）をへて、「認知症の人が参加できる場に必要なこと」をまとめて講座にて発表、意見交換を行った。	対面	5/18、7/1 7/8、11/19	16人
116	会議	帝京科学大学	－	地域ケア会議	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	地域包括支援センターや町会などが地域の中で孤立をキャッチしても、その方を見守る仕組みが脆弱である。そこで、大学生が行う訪問や住民同士で見守り見守られるシステムを構築された山田先生のお話しを拝聴し、地域で何がどこまでできるかを検討する。	対面	12/23	13人
117	会議	帝京科学大学	－	西新井仲町会役員会	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	先の地域ケア会議に参加された町会長を通じて、西新井仲町会役員の皆様に住民同士の見守りシステムを提示した。一度、町会に持ち帰り検討することとなった。	対面	1/27	9人
118	会議	東京電機大学	－	避難所の現地確認等	－	佐藤総務部長 井山管財部長	避難所を運営する避難所運営会議の役員より、震災時の避難所となる東京電機大学東京千住アクセスの現地確認を行いたいとの要望を受けたことにより実施。	対面	1/18	15人
119	会議	東京電機大学	－	ものづくり支援事業	CRC地域連携担当	深澤武彦課長	あだち異業種連絡協議会から東京電機大学と連携して異業種フォーラムを開催したいとの依頼があり、連携事業について確認するため、打合せを行うこととなった。	対面	6/18	10人
120	会議	文教大学	－	パークミーティング	－	－	桜花亭主催の地域の会議。	対面	6/21、10/4 3/7	66人
121	会議	文教大学	－	経済活性化会議	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査・審議を行う。	対面	9/6	7人
122	会議	文教大学	－	花畑団地周辺地区まちづくり協議会	総務部法人総務課	矢島由香 須賀智也 黒澤鮎美	毛長公園周辺工事の進捗状況、文教大学との連携について、まちづくりのための情報提供及び検討。	書面	12/7	32人
123	会議	六大学	－	学長会議・実務者会議	－	－	学長会議では、区長と学長が集まり意見交換を行う。各大学の実務者と区で情報共有を行う。	オンライン	6/28、8/26 10/20、2/21	118人
124	会議	放送大学/千葉大学/東京未来大学	－	孤立ゼロプロジェクト推進事業	－	宮本みち子名誉教授/ 角山剛学長	孤立ゼロプロジェクト推進連絡会の委員として助言等を行っている。 （一人暮らし高齢者の孤立対策という視点から）	対面	2/9	25人
125	会議	東京未来大学/文教大学	－	発達障がい学生支援事業	こども心理学部/ 東京あだち教育支援課	－	令和3年度に実施したアンケート集計結果および今後の連携体制に関する意見交換会。	対面	12/8	12人
126	会議	東京未来大学/帝京科学大学	－	教育利用研究会	こども心理学部/ こども学部幼児保育学科	高橋文字准教授、小林祐一准教授/木場有紀准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。 引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/8、7/21 9/15、12/13 2/20	36人
127	調査研究	東京未来大学	－	冒険あそびに関する共同研究	こども心理学部	横畑泰希准教授	公園あそび（冒険あそび）にて、こどもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。 また、プレイリーダー養成に関する指導もお願いする。	オンライン	10/7、2/28	6人
128	調査研究	帝京科学大学	－	フレイル予防	医療科学部東理学療法学科	奥田裕講師	理学療法学科の奥田先生より、地域の高齢者の体力測定とリハビリについて、自主サークル活動中の方を対象に測定値を図り、今後の研究に生かす。	対面	3/8	12人
129	調査研究	帝京科学大学	－	「足立区地域在住高齢者に対する身体活動量に影響する因子の検討」協力	医療科学部東理学療法学科	奥田裕講師、小山優美子助教	左記研究を行うにあたり、当課の事業「はじめてのフレイル予防教室」「高齢者体力測定会」での対象者勧誘を実施。	対面	6/23、7/16	4人
130	調査研究	帝京科学大学	－	ふれあい動物およびふれあいコーナーの改善に関する共同研究	生命環境学部アニマルサイエンス学科	並木美佐子教授	モルモットなどのふれあい動物に対して、ふれあいとストレスの関連、スタッフや来園者との関わりについて共同研究を行う。	対面	9/12、11/7 11/14	15人
131	調査研究	文教大学	－	国際ボランティア学会	国際学部国際理解学科	林薫教授	国際ボランティア学術大会は、ボランティアに関わる研究者・実践者たちにより開催されるボランティア活動の情報発信、交流の場で、今回は文教大学東京あだちキャンパスが開催地となった。1日目は、午前午後各各研究者の発表を行い、夕方公開シンポジウム（共通論議セッション）を行った。公開シンポジウムでは足立区の課題と協働・協創について協働・協創推進課の栗木課長と区内NPO団体が講演した。2日目は足立区およびUR都市機構が推進する「竹の塚まちづくりラボ」のイベント、区内で子どもの居場所作り活動を行う一般社団法人おせっかいプロジェクトの見学。	対面	2/18、19	1人
132	調査研究	文教大学	－	卒業研究	－	長谷川幸子非常勤講師	生物園をフィールドとした卒業研究における資料の提供や調査地としての協力。	対面	随時	6人
133	調査研究	文教大学	－	特別支援教育における研究交流事業	教育学部特別支援教育専修	小野里美航教授	研究交流事業として、研究学生受入校を募集。教授による支援を要する児童（受入校1校につき1人）の行動観察・助言指導及び研究学生による週1回の支援。受入校との合同会議、全小中学校教員等を対象に報告会を実施。	対面	7月～2月	41人
134	実習生等受入	帝京科学大学	大学生	帝京科学大学社会福祉士養成実習（相談援助実習）受入れ	医療科学部	－	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	8/12～9/22	1人
135	実習生等受入	帝京科学大学	大学生	看護師実習	医療科学部看護学科	－	現場実習。	対面	随時	6人
136	実習生等受入	帝京科学大学	大学生	社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	浅沼太郎講師	現場実習。	対面	8月	1人
137	実習生等受入	帝京科学大学	大学生	インターンシップ	生命環境学部アニマルサイエンス学科	戸澤あきつ講師（東京農業大学）	生物学や飼育を専門にしている学生に、キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	3/1～3/10	1人
138	実習生等受入	文教大学	大学生	臨床心理実習	人間科学研究科臨床心理学専攻	－	大学院生2名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。	対面	通年	80人
139	実習生等受入	文教大学	大学生	心理実習	人間科学部臨床心理学科	－	学部生7名をこども支援センターげんきの見学実習生として受入れ。事業概要を説明した。	対面	6/29	7人
140	実習生等受入	帝京科学大学/文教大学	大学生	学芸員実習	－	沖永荘八学長/中島茂学長	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	対面	8/21～8/30	7人
141	企業等連携	東京電機大学	全区分民	産学連携技術促進事業	研究推進社会連携センター	小島芳和コーディネーター	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	通年	58人

令和4年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①講座 ②イベント ③委員 ④会議 ⑤調査研究 ⑥実習生等受入 ⑦企業等連携 ⑧事業周知 ⑨補助金 の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分） 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など

※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
142	企業等連携	東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	大学生	大学生地域活動プラットフォーム	－	－	区内企業の若手経営者と学生のオンライン交流会及び区内企業へのインタビュー。区内企業との商品開発。	対面 オンライン	通年	127人
143	事業周知	六大学	大学生	アヤセ未来会議2022	－	－	参加者一人ひとりの“街でやりたい、やってみたい”という思いを掘り下げながら、綾瀬をさらに良い街にしていくなために必要なアイデアを参加者同士が話し合い、実践していくワークショップ「アヤセ未来会議2022」の参加者募集チラシの配布を依頼。	－	10/14	－
144	事業周知	六大学	大学生	「足立区拉致問題等啓発推進条例制定記念講演会」チラシの配布協力	－	－	令和3年7月に施行した「足立区拉致問題等啓発推進条例」の制定を記念した講演会の実施に伴い、若年者への啓発の一環として、大学構内でのチラシ配布の協力を依頼した。	－	4/18	－
145	事業周知	六大学	大学生	「原爆・平和・戦争を考える展示会」の学生ボランティア応募チラシ配布協力	－	－	足立区原爆被害者の会（足友会）主催で8月に実施している「原爆・平和・戦争を考える展示会」における学生ボランティアの募集。高齢化する会員の運営補助や、若年者への継承を目的としている。	－	6/27	－
146	事業周知	六大学	大学生	オウム真理教勧誘防止チラシ配付の協力	－	－	新入生を対象にオウム真理教についての注意喚起チラシを配付し、若い世代の入信を防止する。	－	3/9	－
147	事業周知	六大学	大学生	自宅での自転車へ鍵掛け啓発チラシの配付の協力	－	－	刑法犯認知件数のうち自転車盗が3割を占めており、そのうちの約6割が自宅で被害に遭っていることを周知し、自宅での鍵掛けを啓発する。	－	3/9	－
148	事業周知	六大学	大学生	令和4年刑法犯認知件数周知チラシの配付の協力	－	－	令和4年は刑法犯認知件数が5年ぶりに増加した。毎年ダントツで件数が多いのは自転車盗。被害にあってるのは圧倒的に10代20代であり、自転車の鍵掛けを啓発する。	－	3月下旬	－
149	事業周知	六大学	大学生	客引き行為等防止条例周知チラシの配付の協力	－	－	令和5年4月1日から「客引き行為等の防止に関する条例」が施行されることに伴い、客引き行為等についていけないということを啓発する。	－	3月下旬	－
150	事業周知	六大学	大学生	「若者向け相談事例集の配布」の協力	－	－	令和4年に成年年齢引き下げに関する若者向けの相談事例集を作成した。作成物について各大学に配布の協力を依頼した。	－	3/2、3/13	－
151	事業周知	六大学	大学生	「地球にやさしいひとのまち」ポスターコンクール応募チラシの配布	－	－	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。小・中学生だけでなく一般からも募集しているため、大学生に周知するため配付を依頼。	－	8月～10月	－
152	事業周知	六大学	大学生	「スクールアシスタント募集」チラシ配布の協力	－	－	スクールアシスタント募集のチラシを区内六大学に配布し、事業周知をすることで、スクールアシスタントの充実を図る。	－	4/28	－
153	補助金	東京電機大学	－	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	研究推進社会連携センター	－	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	－	通年	－